

# 統合小学校建設だより

第1号

郷土と共に自己を磨き 未来に向けて夢をかなえる人づくり



令和5年10月25日  
川上村教育委員会

## ○『統合小学校建設だより』を発行します

統合小学校建設にあたっては、村民の皆様のご理解・ご協力を頂戴し事業が推進できておりますことに感謝申し上げます。

さて、統合小学校は、令和9年4月の開校に向けて、統合小学校建設委員会と連携しながら、教育委員会事務局にて事業を推進し、本年度より実施設計を行っています。これまで、統合小学校建設事業の進捗状況については広報等でご紹介申し上げてきたところですが、今後は、具体的な姿が見えてきますので、村民の皆様へ、校舎の様子や工事の進み具合など、より具体的な情報をお伝えするため、事業の推進状況に合わせて『統合小学校建設だより』を発行してまいります。村民の皆様におかれましては、未来の夢をかなえる子どもを育てるために、今後ともお力添えくださいますようお願いいたします。

(川上村教育長 藤原克朗)

## ○みんなの力で子どもたちの学校を！

建設委員会に新しい委員が加わって活動が始まりました。子どもたちが多くの時間、友だちや先生方と共に学び、社会性を身に付け成長していく大切な場を造る事業に携わると思うと、身の引き締まる思いでいます。村民の皆様にも学校造りに声を寄せていただき、パッチワークで作品を作るように、声を繋ぎ合わせて、子どもたちが健やかに成長するのを見守る校舎を造っていかれたらと思います。そして、新しい校舎に一歩足を踏み入れたら、「楽しい学校生活が送れそう」「勉強がんばろう」、そんなワクワクできる学校を目指し、委員一同、尽力してまいります。

(統合小学校建設委員会委員長 大西たま子)

## ○統合小学校建設に向けたこれまでの歩みをご紹介します

年.月	内 容
H.30.11	小学校2校の校舎老朽化及び児童数減少に伴い、「学校あり方検討委員会」が発足しました。
H.31.4	「学校あり方検討委員会」より、『第一小学校と第二小学校の老朽化、修繕費の増加等から統合すべきである。また、小中一貫校の検討を行うように。』という意見書が川上村に提出されました。
H.31.6	意見書を受け、「川上村小学校の統合に向けての方針」を作成しました。
R.元.12	住民の方の代表者で組織した「川上村小学校統合研究委員会」が発足し、“郷土を愛し健やかに・未来に向かって伸びやかに”をコンセプトに据え、川上村が目指す統合小学校の姿として、1.安全性と安心感を兼ね備えた空間的に余裕のある学校 2.確かな学力を保障する学校 3.豊かな心・健やかな体を育む学校 4.小学校と中学校の交流が円滑な学校 5.地域の交流・文化拠点となる学校 6.地域の防災拠点となる学校 7.柔軟性に優れた学校、の7項目を基本設計の目標としました。
R.3.3	「川上村統合小学校建設基本構想」が策定されました。
R.3.5	住民の方の代表者で組織した「川上村統合小学校建設委員会」が発足し、二年間にわたり、基本計画策定ならびにこれに付随する必要事項の協議を進めてまいりました。このうち必要事項の協議については、総務部会、教育部会、施設・設備部会、通学部会、式典部会を構成し、それぞれ、学校教育、行政に必要と思われることを協議し、方向性が得られました。
R.3.12	「川上村統合小学校建設基本計画」が策定されました。
R.4.5	基本設計業務プロポーザル審査会を開催し、7者の中から小諸市の(株)東浜設計が基本設計業務を行う業者として選定されました。選定理由は、ほかの提案者と違い、校舎全体がコンパクトに設計されており、体育館を南側に配置、体育館に併設して家庭科室を設けてあり、災害避難所となった場合に有効に施設を使用できる点が挙げられます。
R.5.4	基本設計業務が終了し、実施設計業務に移行しました。
R.5.6	建設委員会で検討してきた基本設計業務が終了すると共に、これまでの各部会の協議内容にも一定の方向性が得られたことから、部会を再編成しました。実施設計の内容については、部会編成後の建築部会で検討します。学校での生活や学校生活の決まりなど学校教育に係る協議内容は、学校生活検討部会・学校行事検討部会・地域連携検討部会で検討していきます。各部会での協議内容は決定事項ではなく、建設委員会に報告の後、あくまでも教育課程を編成する学校へのサポート資料として提供していきます。